

能代港における 洋上風力発電拠点化に関する要望



令和2年11月20日

能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会

会長 齊藤 滋 宣

平素より本同盟会の活動に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年3月、本同盟会の悲願であります能代港における洋上風力発電の設置及び維持管理拠点の形成を柱とした能代港の港湾計画の改訂が、貴職の多大なる御尽力をいただき、本同盟会の設立から2年を経ずに実現できましたことは、幸甚の至りであり、深く感謝申し上げます。

さらに、令和5年度の完成を目指した能代港の岸壁整備や地耐力強化等に向けた事業に着手いただきましたことに対しまして重ねて感謝申し上げます。

県においても、能代港のふ頭用地の造成工事に着手する予算を確保いただいております。本改訂に沿った港湾整備の早期実現まで期待できるようになってまいりました。また、本年7月に再エネ海域利用法に基づく洋上風力発電の促進区域に「秋田県能代市、三種町及び男鹿市沖」を指定していただくとともに、9月には、港湾法における海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾（以下、「基地港湾」）として指定を受け、本同盟会の目的である能代港を核とした洋上風力発電の拠点化に向けた動きが加速していることを実感いたしているところであります。

また、「八峰町及び能代市沖」が再エネ海域利用法における協議会の組織等の準備に着手する有望な区域に選定されるとともに、青森県沖日本海など、周辺の海域が有望な区域に選定されており、今後、能代港が、効率よく、継続して活用されることにより、基地港湾としての効果を最大限に発揮できるものと考えております。

国におかれましては、洋上風力の導入拡大と競争力強化・コスト低減を同時に実現していく「好循環」を形成するため、「洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会」を設置され、国内における風力発電関連産業の振興に向け、中長期的な洋上風力発電導入見通しなどについての議論が進められております。基地港湾の整備とともに、その周辺で関連産業が集積することが、拠点化に向け重要と考えております。

こうしたことにより、洋上風力発電関連の産業集積や雇用創出、ビジネスチャンスが拡大し、本県全体の経済発展が図られるとともに、地球温暖化対策や我が国の安定・安価な電力供給、経済の国際競争力の向上にも大いに貢献できるものと確信しております。

今後とも、本同盟会及び地域が一丸となって、本地域における洋上風力発電の拠点化に取り組んでまいりますので、国におかれましても、下記事項について、引き続き、ご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

記

- (1) 能代港が洋上風力発電の建設及びメンテナンス拠点となるための港湾施設の早期完成
- (2) 基地港湾として広域の複数の事業で継続的に活用され、その効果が最大限に発揮されるための支援
- (3) 秋田県北部地域における風力関連産業の集積に向けた支援

令和2年11月20日

能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会
会長 能代市長 齊藤 滋 宣